

○ 本校の概要

【教育目標】
人間尊重の精神に基づき、よりよい地域社会の担い手として、主体的、創造的、協働的に生きることのできる、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
○健康でねば強い子 ○よく考え工夫する子 ○みんなのために働く子
児童数 625名(通常級 18学級 特別支援学級 4学級)
研究主題 「思いや考えを伝え合い、学び合う児童の育成」
特色ある教育活動・・・詩集「いけがみ」の発行、一人一鉢栽培、異学年交流活動、地域の人材、史跡、自然等の環境を生かした体験的な教育活動 等
○教科担任制による児童理解に基づいた指導の充実・・・東京都「小学校教科担任制等推進校」(令和3年度～令和5年度)、大田区教育委員会教育研究推進校(令和3年度～令和4年度)

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組 今後の改善策, 評価 人数, 学校関係者記入欄. The table contains detailed data for four main categories: 1. 未来社会を創造的に生きる子供の育成, 2. 児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます, 3. 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をなくみまします, 4. スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す